

「教えられる」から「自ら考える」へ、学びの転換を加速します

「ナゴヤ学びのコンパス」に基づき、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する取り組みを進めます

「子どもを一人も死なせない名古屋」の実現に向け、「一人ひとりの人生の基盤としての理念」に基づく支援を推進します

I 「あなたが学びの主人公」～子ども中心の学びの充実～

子どもの習熟度や興味・関心、特性に応じた個別最適な学びを徹底し、DXの推進・ICTの活用により、確かな学力を保障しながら、自律して学び続ける子どもを育てます。

本物のヒト・モノ・コトとであうキャリア教育を充実させることで、子どもが自分らしい生き方を実現する力を育てます。

II 「安心があるから、学びがひろがる」～安心・安全に学べる環境づくり～

すべての子どもが権利ある主体として尊重され、安心して健やかに育つことができるよう、いじめの未然防止や早期対応、きめ細かな相談体制の強化、教育と福祉の連携による切れ目のない支援、学びを支える経済的支援、学校施設の整備などを通じ、安心・安全に学べる環境をつくります。

地域をはじめ多様な主体と連携し、みんなで子どもの学びを支えます。

III 「一人ひとりに、寄り添う学びを」～ラーニング・ダイバーシティの推進～

従来の形にとらわれない学校づくりをはじめ、高校入試改革や不登校支援などを強力に進めることにより、子どもの多様なニーズに寄り添う柔軟な学びの機会を提供します。

すべての人が生涯を通じて学び続けることができるよう、社会教育・文化施設は、市民個々のニーズに応じた多様な学びを提供します。いつでも学べるよう施設の利便性を向上し、魅力を幅広く発信します。



地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項に規定する大綱として、上記のとおり定める

令和7年6月24日

名古屋市長

広沢一郎